

小中学校・一般合同合唱

【出 演】高郷小学校、丸山小学校

海神中学校、芝山中学校、飯山満中学校、法田中学校

ふなばし市民合唱団

(一般公募の皆さん、船橋市合唱連盟からの有志：HGメンネルコール、津田沼混声合唱団、船橋混声合唱団、船橋さざんか少年少女合唱団、コール・クラウディア、塚田のcockさん合唱団、習志野混声合唱団)

【指 揮】石田 湧次、白石 正義

【ピアノ】竹田 俊亮

この合唱ステージでは、小学生から上は80代まで、さまざまな年齢層の参加者が一堂に会し、それぞれの経験や思いを込めて、ひとつの楽曲で声を合わせます。多様な声が響きあう、温かく壮大な音楽をぜひお楽しみください。2つの詩が、美しいハーモニーによって客席の皆さまにしっかり届きますように。



谷川 俊太郎さんと「千人の音楽祭」

詩人の谷川俊太郎さんが、昨年11月13日に92歳で亡くなりました。謹んでお悔やみを申し上げます。

谷川さんには、2017年の「千人の音楽祭」にご出演いただきました。詩を朗読してください、またご自身が作詞された「鉄腕アトム」を合唱団と一緒に歌ってくださいました。

子供たちに囲まれて「生きる」を朗読された場面は、今でも音楽祭の忘れがたい1シーンとなっています。

深い感謝とともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



千人の音楽祭スペシャルオーケストラ

【指揮】 山本 音弥



1995年千葉県生まれ。

東京音楽大学トランペット科を卒業後、武蔵野音楽大学別科指揮専攻にて指揮を学ぶ。

東京音楽大学在学時より指揮を時任康文氏に師事。

これまでに千葉市管弦楽団、法政大学交響楽団、リアン・フィルハーモニックオーケストラ2024、ウインドミルオーケストラをはじめとする、様々なオーケストラ・吹奏楽・オペラ団体の演奏会を指揮するなど、多岐に渡り指揮活動を行う。

現在Tetto Wind Orchestra常任指揮者、聖心女子大学オーケストラクラブOG合奏団常任指揮者、千葉県少年少女オーケストラ トレーナー。

船橋市には、このまちで音楽を始め、音楽の魅力と出会った人がたくさんいます。“千人の音楽祭”に参加してきた子供たちも何千人もいます。そんな「音楽のまちふなばし」で青春時代を過ごし、今も変わらず音楽活動が続けている音楽家たちを集めて、オーケストラを編成しました。今年はより幅広い世代の方々と共に「音楽のまちふなばし」を次世代に紡いでいきたいと考え、年齢制限をなくしました。全国一、スクールオーケストラが盛んな船橋でしかできない、船橋だからこそできる特別なオーケストラの演奏を、どうぞお楽しみください。



和太鼓

【ゲスト】 郷嵐會

和太鼓打込集団 郷嵐會 2006年に、ボランティア団体として結成。船橋市を中心に22名のメンバーで約40公演行っています。

日本の音、和太鼓を通じ、たくさんの繋がりを大切に感謝しています。一生懸命のかっこ良さ、家族や仲間大切さ、そんな事が郷嵐會の演奏から皆様の心に響き残るように打ち込んでいます。

皆様一緒に『わっしょい！わっしょい！和緒ー！』



市立船橋高等学校吹奏楽部

こんにちは！ 船橋市立船橋高等学校吹奏楽部です。活動テーマは、「青春は一瞬で一生。」です。楽器演奏はもちろんのこと、マーチング、合唱、YOSAKOI、野球応援、サッカー応援…様々な活動をさせていただいています。

活動を通じて感じることでできる喜怒哀楽は、生きているからこそ感じられること。部員同士、お客さんや応援してくださる方との繋がりなど、私たちの活動は、多くの人との繋がりに、支えられながら成り立っています。本日も、会場で多くの人との繋がりを感じながら音楽できることに感謝しています。市船吹奏楽部のステージ、お楽しみください！！

日頃の活動について、学校ホームページ、市船吹奏楽部ホームページ、Instagram、Xなどで随時更新しています。応援よろしくお願いいたします♪



「ふなばし音楽フェスティバル」とは…

平成6年に船橋アリーナ落成記念事業として始まった「千人の音楽祭」に、アマチュアバンドの祭典「BAND STAND FUNABASHI」、公民館等を会場に実施するミニコンサート「地域ふれあいコンサート」を加え、平成9年から「ふなばし音楽フェスティバル」を実施しています。平成26年度からは、まち行く人にも音楽を楽しんでもらえるよう、屋外にもフィールドを広げ「ふなばしミュージックストリート」、「まちかど音楽ステージ」を開始。

「音楽でまちを元気に！」をテーマに、市民の皆さんの手づくりによる「音楽のまち・ふなばし」ならではのイベントとして、多くの方々に親しまれています。

BAND STAND FUNABASHI

市内の社会人ビッグバンドが集うジャズコンサート。ゲストにプロのミュージシャンを迎え共演するジャズの祭典です。5年程前から一般募集の若いメンバーによるビッグバンドを編成し、ビッグバンドジャズの普及に取り組んでいます。

地域ふれあいコンサート

公民館等の身近な場所で、気軽にさまざまな音楽を楽しめる「地域ふれあいコンサート」。今年は市内全14カ所で開催されます。お客さんと出演者との距離が近いのも魅力のひとつ。演奏者の息遣いを間近で感じることができます。

まちかど音楽ステージ

船橋市公認の路上ライブステージ。毎月第2・第4金曜日（祝日を除く5月～12月）の18時～20時30分まで、京成船橋駅と船橋フェイスビルの連絡デッキで開催しています。事前に登録したミュージシャンが、昭和歌謡、ロック、ポップスなど幅広いジャンルの演奏を行っています。

ふなばしミュージックストリート

「音楽でまちを元気に！」をテーマに掲げ、平成26年から始まったイベント。一人でも多くの人たちに音楽の持つ力を生で感じてもらいたいとの思いから、船橋駅周辺の屋内外会場をステージにして、ライブ演奏を繰り広げます。あおぞらカラオケライブや学生バンドコンテスト、弾き語りコンテストなどの企画ステージも好評です。

グランドフィナーレ



【指揮】 松川 智哉

東京藝術大学音楽学部指揮科卒業、同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程修了。

2019～2021年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。

2022～2024年、セントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクター。

これまで、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、芸大フィルハーモニア管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、富士山静岡交響楽団、セントラル愛知交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団他と共演。

現在、オーケストラの指揮者としての活動のほか、オペラの分野でも精力的に活動しており、これまでにびわ湖ホールプロデュースオペラをはじめ多数の公演で副指揮者を務める。

愛知県立芸術大学非常勤講師。



【コンサートミストレス】 有村 実保子

船橋市出身。9歳よりヴァイオリンを始める。御滝中学校在学中、管弦楽部に所属し音楽の道を志す。国立音楽大学音楽学部卒業。同大学卒業演奏会および第37回千葉県新人演奏会に出演。また在学中チャイコフスキーヴァイオリン協奏曲をオーケストラと共演。第8回フランス音楽コンクール奨励賞、第13回大阪国際音楽コンクールデュオ部門エスポワール賞を受賞。Concordia Quartet、Affetto Duoとして、東京、青森、鹿児島でリサイタルを開催。また朗読と音楽の融合として朗読劇にも意欲的に取り組んでいる。これまでに千秋佳子、大関博明、R.シュミットの各師に師事。現在、パシフィックフィルハーモニア東京第一ヴァイオリン奏者。

【ゲスト】



錦織 まりあ

愛知県立芸術大学音楽学部声楽学科首席卒業、桑原賞受賞。同校主催卒業演奏会及び読売新人演奏会に出演。ウィーン国際音楽ゼミナール、マインツ音楽ゼミナール、ライブツィヒ音楽ゼミナール他、ヨーロッパ各地でマスタークラスを受講しディプロマ取得。ドヴォルジャーク国際声楽コンクール入選。愛知県立芸術大学推薦でSMBCコンサートに出演。ドイツ、オーストリア、ポーランド、イタリアの歌劇場や教会などで演奏する他、現在は東京を中心に活動している。

また、フスラーの理論に基づく発声法を学び、多くの合唱団やプロを目指す学生等、後進の指導にも力を注いでいる。

全国各地の合唱部の指導、教員向けの指導法講習会講師など務める。



今福 充

東京音楽大学声楽科ソロコース修了。2011年 第19回 太陽カンツォーネコンクール（クラシック部門）で第1位を受賞。持ち前のリリックな声を生かしてレパートリーは、童謡からオペラまでと幅広い。リサイタル活動を中心に、ベートーヴェン第九のソロや多数オペラにも出演。また、市内小学校で25年間にわたり管弦楽部を指導。全国レベルの評価も受けた。現在、塚田南小学校に勤務している。

エンディング

「船橋讃歌」 ～千人の音楽祭に寄せて～

詩 船橋の子どもたちと千人力
作曲 八木澤 教司

耳を澄ませば 広がる音色
波の戯れ 風に揺れる木々 無限の青空
海の香りのこの街が 教えてくれた
空に描いた夢 こぼれる光
千の言葉 共に鳴らせば 奇跡は起きる
大地を揺らして 空に届けて 想いを込めて
ふるさとのメロディ 響け サウザンドシンフォニー

目を閉じれば 懐かしい笑顔
心なくす日々 遠い昔の 自分の中で
歌声あふれるこの街が 教えてくれた
夜明けを迎え 変わらぬ思い出
心一つに 共に歩めば 願いは叶う
大地を揺らして 空に届けて 想いを込めて
ふるさとのメロディ 響け サウザンドシンフォニー

空を見上げ まぶしい輝き
涙の時も 笑顔の日々も
つないだ手 永遠（とわ）に
共に歌おう 共に奏でよう
大地を揺らして 空に届けて 想いを込めて
ふるさとのメロディ 響け サウザンドシンフォニー
いつまでも いつまでも
輝く未来へ

大地を揺らして 空に届けて 想いを込めて
ふるさとのメロディ 響け サウザンドシンフォニー
響け サウザンドシンフォニー
響け サウザンドシンフォニー

船橋ドドンパ

作詞 高橋 健一
作曲 八木澤 教司

船橋よいとこ港町
今日もお日様昇りゆく
船橋 人情 海の街
小さなことで くよくよせずに
真つすぐ前を向きながら
笑顔あふれる人の街
我がふるさとはこちらにあり

さあさ さあ さあ さあさ さあ
手をつなげ 心をつなげ
老いも若きも皆同じ
さあさ さあ さあ さあさ さあ
みんな輪になれ 手をつなげ
祭り太鼓が鳴り響く
イキのいい街 船橋ドドンパ

一度限りの人生よ
いつかは花咲く人生よ
船橋 ふれあい 水の街
今、頑張らずに いつ頑張るの
生きているのはこの瞬間
はずむ心よ世界にとどけ
やる気になればできるんだ

さあさ さあ さあ さあさ さあ
己を生かせ 仲間を生かせ
老いも若きも皆同じ
さあさ さあ さあ さあさ さあ
みんな輪になれ 手をつなげ
祭り太鼓が鳴り響く
ノリのいい街 船橋ドドンパ



【作曲】八木澤 教司

作曲家。神戸女学院大学音楽学部准教授、名古屋芸術大学客員教授。千人の音楽祭テーマソング『船橋ドドンパ』の作曲者。

千葉県市川市育ち、2020年より兵庫県西宮市在住。武蔵野音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

吹奏楽曲、アンサンブル曲は日本のみならずアメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国でもレパートリーとして親しまれている。2019年11月9日天皇陛下御即位奉祝記念式典・国民祭典において天皇皇后両陛下「お出迎えのファンファーレ」として、東京2020パラリンピック開会式の式典音楽として作品がそれぞれ採擧された。合唱曲として手がけた《あすという日が》は“希望の歌”“東日本大震災復興シンボル曲”と称され、2011年第62回NHK紅白歌合戦において夏川りみ、秋川雅史の両氏によって熱唱された。

これまで全国植樹祭、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会の式典音楽制作を歴任。第21回日本管打・吹奏楽アカデミー賞【作・編曲部門】（2011年）受賞、平成23年度JBA下谷奨励賞を受賞。



【ゲスト】石橋 由佳里（「船橋ドドンパ」歌唱）

市立船橋高等学校吹奏楽部在籍中の第12回千人の音楽祭より、「千人の音楽祭」テーマソング「船橋ドドンパ」の歌唱を務める。

すっかりお馴染みとなった力強い歌声で、
今年も会場を盛り上げます。